

福島イノベーション・コースト構想の これまでの取組について

平成29年7月28日

高木内閣府原子力災害現地対策本部長
提出資料

これまでの経緯

●平成26年1月

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に、世界中の人々が、浜通りの力強い再生の姿に瞠目する地域再生を目指し、「福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会」を立ち上げ。赤羽一嘉内閣府原子力災害現地対策本部長・経済産業副大臣（当時）が座長を務め、内堀副知事（当時）、地元市町村長、産学官の有識者で構成。平成26年1月～6月の間、計7回開催。

●平成26年6月

構想の主要プロジェクトや、実現に向けた方策を示した報告書を取りまとめ。また、「経済財政運営と改革の基本方針について（骨太の方針2014）」において、福島イノベーション・コースト構想を位置付け。

●平成26年12月

「イノベーション・コースト構想推進会議」を立ち上げ。高木陽介内閣府原子力災害現地対策本部長・経済産業副大臣が座長を務め、内堀知事、地元市町村長等が参加。平成29年2月までの間、計8回開催。

●平成28年2月

「拠点を核とした産業集積及び周辺環境整備の課題に係る検討会」を立ち上げ。同年5月までの間、計4回開催し、議論の整理を取りまとめ。

●平成28年12月

「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針（平成28年12月20日閣議決定）」において、閣僚級会議の創設等について記載。

●平成29年5月

福島復興再生特別措置法改正法が成立。福島イノベーション・コースト構想を法的に位置付け。

福島イノベーション・コースト構想の主要プロジェクト

廃炉研究

- 福島第一原発の廃炉を加速するための国際的な廃炉研究開発拠点の整備
- モックアップ試験施設を活用した機器・装置開発、実証試験



モックアップ試験施設

ロボット

- 総合的なロボット開発・実証拠点(福島ロボットテストフィールド)の整備
- ロボット国際大会(World Robot Summit)の開催



福島ロボットテストフィールド

国際産学連携

- 国際的な産学官共同研究室
- 原子力災害の教訓・知見を継承、世界に発信するための情報発信拠点



アーカイブ拠点

環境・リサイクル

- 廃棄物のリサイクル、復興資材の供給
- 最先端のリサイクル事業



石炭灰の再生砕石

エネルギー

- 再生可能エネルギー等の新たなエネルギー関連産業の創出
- LNG受入基地・高効率石炭火力発電に関連した産業の集積



風力発電のプロジェクト

農林水産

- 先進的な農林水産業を全国に先駆けて実践
- 水産研究拠点の構築と調査、研究、実証による安全・安心の担保



無人走行トラクター



環境制御型園芸施設

福島イノベーション・コースト構想 主な拠点、プロジェクト、関連（研究）機関等

2017年7月現在

